

## 休暇を利用し新隊員が近況報告

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之1等陸佐）静岡募集案内所は、ゴールデンウィーク期間中、今年の3・4月に入隊・入校した新入隊員の近況報告を受けた。

今年度静岡所の担当地域からは、北は北海道真駒内、南は山口県防府まで、陸海空の教育隊及び学校に37名が入隊・入校した。大型連休の帰省にあわせ事務所を訪れた隊員達からは、「毎日の筋トレが大変だが、同期と励まし合いながら頑張っている」「毎日経験したことのないことばかりで、とても充実している」といった感想が聞かれた。

毎年このゴールデンウィーク休暇時期には多くの入隊者が近況報告のために事務所へ来所してくれており、各人の成長ぶりに触れて隊員募集広報業務のやりがいを感じる事が出来る。また、自主的に母校への帰郷報告を実施している隊員もおり、自衛隊の認知度向上に大きく貢献している。

静岡地本は、今後も担当した新入隊員の近況報告を受けて叱咤激励するとともに、入隊者の母校訪問を支援し、自衛隊の魅力ややりがいをアピールして、熱意ある若者の入隊に結びつけられるよう活動していく。



## 静岡学園高等学校で防衛大・防衛医大をPR

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之1等陸佐）は、5月13日（土）、私立静岡学園高等学校（静岡市）で実施された「進学ガイダンス」に参加した。

このガイダンスは同校が主催し、学生に対して県内外の各大学や専門学校がそれぞれ魅力をPRするもので、静岡地本も「防衛大学」「防衛医科大学校」の説明を行い、防衛省所管大学校ならではの魅力を伝えた。同校からは防衛大学校をはじめ、パイロットを目指す航空学生等の合格者も輩出しており、自衛隊への関心も大変高いことから、広報官の説明も熱のこもったものとなった。

前半は受験を控えた3年生に対して各学校の概要説明等を行い、後半は進学を希望する1、2年生に対し、今後の進路決定の参考としてもらうためPRを行った。

説明を受けた生徒は「気になっていた防衛大学校のことを詳しく知ることができ、大変良かった」「防衛医大のオープンキャンパスには是非参加してみたい」等と話していた。

静岡地本は、今後も各学校のガイダンスや大学紹介イベント等を通じて防衛大・防衛医大の魅力を発信し、進学を志望する学生の進路選択肢の一つとなるように、学校や入学制度の魅力を丁寧に伝えていく。

